

7月号
2023 Vol.9

田水郷通信

◆ Topics

- 現場の声を施策に 地域懇談会開催
- 流域治水の一翼 全県普及へ 田んぼダムシンポジウム開催
- イベント・展示盛りだくさん！ 仙台七夕まつりへ出展します
- 田水郷コラム「熱中症対策にも効果的！
昔ながらのすっぱい梅干し」



第9回農美里フォトコンテスト受賞作品
「暑い日の作業」

現場の声を施策に 地域懇談会開催

令和5年5月31日（水）から7月12日（水）にかけて、現場の状況や地域ニーズ等を把握し今後の施策展開に生かすことを目的として、県内の7圏域（大河原・仙台・大崎・栗原・石巻・登米・気仙沼）において「令和5年度みやぎ農業農村整備地域懇談会」を開催しました。懇談会には、市町村、土地改良区、JA、土地改良事業団体連合会、みやぎ農業振興公社の代表者の皆様にご参加いただき、意見交換を実施しました。

今年度は、電気料金高騰に伴う維持管理費への影響について、各圏域の土地改良区からご意見をいただいたほか、農地整備事業の予算確保及び計画的な事業推進、老朽化した土地改良施設の更新、畑地化促進事業の話題については、複数の管内でご要望をいただきました。

ご意見・ご要望いただいた内容を可能な限り施策展開に反映させ、エネルギー・物価の高騰や農業者の高齢化といった厳しい状況の中にあっても、宮城の田・水・郷が持続的な発展を遂げられるよう、農業農村整備事業を計画的に推進していきます。



R5.5.31仙台管内 開催状況



R5.6.7登米管内 開催状況



R5.7.12北部管内 現地調査

流域治水の一翼 全県普及へ 田んぼダムシンポジウム開催

田んぼダムの取組についての理解向上を図り、全県への普及を進めていくため、令和5年6月12日、大和町まほろばホールにて「田んぼダムシンポジウム」が開催されました。

シンポジウムの開催に先立ち、大和町落合蒜袋地内の田んぼにおいて田んぼダム堰板設置セレモニーが行われました。

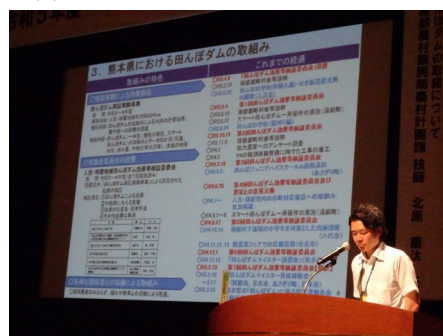


田んぼダム堰板設置セレモニー

シンポジウムでは、宮城県田んぼダム実証コンソーシアムの活動報告、外部講師（農林水産省農村振興局、新潟大学、熊本県）の講演を通して、田んぼダムの取組への理解向上と普及啓発を図ったほか、田んぼダムの模型やコンクリート製品を紹介する展示ブースが出展され、田んぼダムについて積極的なPRが行われました。



田んぼダムシンポジウム開催状況



熊本県による取組紹介

イベント・展示盛りだくさん！ 仙台七夕まつりへ出展します

令和5年8月6日（日）から8日（火）にかけて開催される「第25回 仙台七夕まつり」において、東北農政局・宮城県・水土里ネットみやぎの主催により、農業農村整備事業の果たす役割や、農業・農村の魅力を伝えるイベント展示を行います。

農業に欠かせない水・土・里について、クイズやパネル展示で分かりやすくお伝えするほか、美味しいみやぎ米をゲットできる企画もあります。この機会にぜひ、水土里のちからを体験しに親子で遊びに来てください！

▼七夕まつり 開催チラシ

第25回
仙台七夕まつり

子どもに夢を

令和5年8月6日(日)・7日(月)・8日(火)

今こそ知ろろ！
未来育む水土里のちから

勾当台公園市民広場市役所前
仙台市役所 宮城県庁
市民広場 会場 勾当台公園
三越

遊びに来てね！！

水土里がわかる楽しい展示やイベント盛りだくさん！！



田んぼの生き物コーナー



うちわにお絵かきコーナー



パネル展示コーナー

クイズ、アンケートに答えて
美味しいみやぎ米をゲット！



未来の子どもたちに「水土里」の大切さを伝えるために、わたしたちは農業・農村を整備する事業を行っています。
水土里には、きれいな水がながれる（水）、豊かな土壌でおいしい食べものが育つ（土）、里山の自然環境がやすらぎを与えてくれる（里）など、われわれの暮らしを豊かにする多くの効果があります。

主催：東北農政局・宮城県・水土里ネットみやぎ

お問い合わせ先：水土里ネットみやぎ 総務部 TEL:022-263-5811

熱中症対策にも効果的！昔ながらのすっぱい梅干し



見ていると口がすばみそうな本号の表紙写真は、筆者の地元でもある角田市での梅干し作りの様子です。

角田の梅干しは、しそと塩のみで漬け込み、添加物を一切使用せず、昔ながらのすっぱい味が特徴です。一つ一つを手作業で三日三晩の土用干しを行い、丁寧に仕上げられていて、代々伝わってきた作り手それぞれの感覚が伝統の味を守り続けています。

・梅干し作りの工程

【3月上旬】梅の花の開花

【7月上旬】梅もぎ

【7月中旬】梅天日干し

【8月上旬】梅本漬け

【2月上旬】梅干し出荷始め



塩辛くとても酸っぱい梅干しは、おにぎりとの相性が抜群ですし、日本酒のおつまみとしても優秀です。加えて、暑い夏場において食欲を増進し、塩分を補給することができるので、熱中症対策としての効能も優れた食品なのです。

夏バテ気味で食欲ない…とか、甘い梅干しに飽きてしまった！という方は、刺激的な“昔ながらの梅干し”を試してみてもいいかもしれません。

～宮城県農業農村整備関係部所一覧～

県庁農政部

農山漁村なりわい課

農山漁村調整班、交流推進班

中山間振興班、6次産業化支援班

農村振興課

指導班、企画調整班、地域計画班、

技術管理班、広域水利調整班、

農村整備課

事業経理班、換地・用地班、ほ場整備班

水利施設保全班

農村防災対策室

防災対策班、ため池対策班

022-211-2657

022-211-2861

022-211-2871

022-211-2875

県出先機関

大河原地方振興事務所

仙台地方振興事務所

北部地方振興事務所

北部地方振興事務所

東部地方振興事務所

東部地方振興事務所

気仙沼地方振興事務所

王城寺原補償工事事務所

農業農村整備部

農業農村整備部

農業農村整備部

栗原地域事務所

農業農村整備部

登米地域事務所

農業農村整備部

農業農村整備部

0224-53-3111

022-275-9111

0229-91-0701

農業農村整備部

0228-22-2111

0225-95-1411

農業農村整備部

0220-22-6111

0226-24-2121

022-345-5175

問い合わせ先

〒980-8570 仙台市青葉区本町3丁目8番1号

宮城県農政部農村振興課企画調整班

電話：022-211-2863 E-mail：nosonshin@pref.miyagi.lg.jp

農村振興課HP：https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/nosonshin/